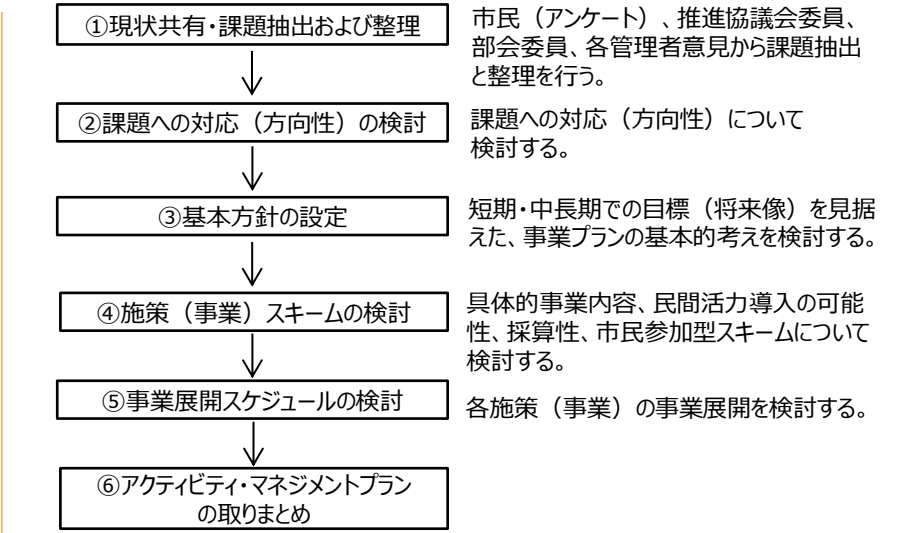


## <アクティビティ・マネジメント部会について>

水前寺江津湖公園の現状や課題等を把握し、公園の持つポテンシャル（ストック効果）を活かした、多面的な活用方策の検討、公園経営、エリアマネジメントの視点からの検討等を行うもの。

## <検討フロー>



開催時期	検討内容
第1回 (8/6)	①部会での検討内容（キーワード）、検討の進め方（フロー）の検討 ②市民アンケート結果、委員意見、各管理者意見をもとに、水前寺江津湖公園に関する課題抽出と整理を行う。
第2回 (9/25)	課題の共有および計画の基本的考え方の検討
第2回 利活用・保全推進協議会 部会報告内容：課題と計画の基本的考え方について	
第3回 (10月)	①②③協議会意見を踏まえたフィードバック ④具体的事業スキームの検討（民間活力導入可能性、市民参加スキーム）
第4回 (11月)	④具体的事業スキームの検討（民間活力導入可能性、市民参加スキーム） ①②③④計画の骨子（案）の検討
第3回 利活用・保全推進協議会 部会報告内容：計画の骨子（案）	
第5回 (12月)	①②③④協議会意見を踏まえたフィードバック ④具体的事業スキームの検討（民間活力導入可能性、市民参加スキーム）
第6回 (1月)	⑤事業展開スケジュールの検討 ⑥運営手法・担い手づくりの検討
第7回 (2月)	⑥計画素案の検討
第4回 利活用・保全推進協議会 部会報告内容：素案	
第8回 (3月)	⑥協議会意見を踏まえたフィードバック
第9回 (4月)	⑥パブリックコメント意見を踏まえた検討
第5回 利活用・保全推進協議会 部会報告内容：計画（案）	

## アクティビティ・マネジメントプランの基本的考え方（目指すべき方向性）

市民の憩いの空間として、誰もが訪れたことのある江津湖公園。しかしながら、施設老朽化で施設の更新が迫るとともに、生物多様性を含む環境問題など、多くの課題を抱える公園となっている。生物多様性の保全とともに、江津湖の持つポテンシャルを最大限に発揮し、誰もが誇れる、上質な公園空間の創出を実現する。

### キーワード（視点）

①「魅力」と「質」の向上

②適切な公園経営・資産運用

③運営手法と担い手づくり

### 基本的考え方（１）：「魅力」と「質」の向上

- 恵まれた自然環境（水、花緑、動植物など）を実感できる生物多様性の豊かな公園づくり
- 地域資源（美しい景観、歴史、文化）の顕在化を図る  
→公園の魅力発信
- 「利用者ニーズにあった公園運営」への転換を図る
- 利用者視点にたった公園サービスを提供する
- 観光客にアピールできる個性に磨きをかける  
→自然環境に配慮した利活用の取り組みの実施
- 公園の質の評価を向上させていく仕組み（市民意見の反映）を構築する



### 基本的考え方（２）：適切な公園経営・資産運用

- 面積126haを有する江津湖公園を資産と捉え、この資産ストック効果をより高める
- 江津湖公園の持つポテンシャルを柔軟な発想で引き出す
- 民間との連携の加速による、都市公園の魅力向上を図る
- 民間活力を発揮、引き出しやすい環境を整備する（ガイドライン）
- 得られる収益を、維持管理費用、新たな魅力向上事業など、来園者のサービス向上につなげる

### 基本的考え方（３）：運営手法と担い手づくり

- 公園キャストの発掘、働きかけ、人材育成からキャストネットワークの拡大
- 地域のエリアマネジメント組織による公園運営
- 市民・事業者（民間）・行政の連携（知恵を絞る）による公園利用の幅を拡大する
- 市民・事業者（民間）・行政の連携した災害防災力を向上する
- 生物多様性に配慮した協働管理ルールを共有する

